

## 伴走支援計画書

## 1 事業計画書等の妥当性等について

次の(1)～(3)の項目について事業計画の内容について評価してください。

項目	評価コメント
(1) 経営課題の設定の適切さ ※経営課題の設定が適切であると判断した理由を記載してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算状況等を踏まえて課題設定しており、適切であると判断する。</li> <li>・当所と共同でローカルベンチマーク（財務分析）を作成しており、ビジネスモデルと商流を踏まえた現状把握に基づき経営課題を設定していることから、適切と判断する。</li> </ul>
(2) 事業計画書の妥当性 ※設定された経営課題の解決に資する内容の事業計画であるとする理由を記載してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営課題としている売上の増加と利益率の向上につながる事業であり、課題解決に資すると判断する。</li> <li>・インバウンド向け新商品開発の実施は、自社のニーズ調査を踏まえて計画しており、実現可能性も高く、当社の収益性改善に資すると判断する。</li> </ul>
(3) 補助事業の遂行可能性 ※補助事業に要する資金調達の手当てができ、補助事業期間内での補助事業が遂行可能であると判断した理由を記載してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己資金で事業を実施する予定であり、直近期の決算書から実施に必要な資金（現預金）が確認できることから、資金調達の手当ては可能と判断する。</li> <li>・補助事業期間について、実施内容を確認し、遂行可能な期間と判断する。</li> <li>・また、当社の商品開発実績（H●年に■■向けに▲▲を開発）を踏まえても適切な事業期間が確保されている。</li> </ul>

## 2 伴走支援について

次の(1)～(2)の項目について記載してください。

項目	内容
(1) 伴走支援の必要性 ※応募事業者が事業計画書記載の事業を効果的に実施するために必要な助言や支援を記載してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品をターゲットにあったものにすることに加え、収益性の改善につながるよう、商品の販売価格や原価率等も念頭に開発を進める必要があると考える。</li> <li>・当社において、近年、新商品開発が行われていなかったことから、スケジュールの管理に注意が必要と考える。</li> <li>・売上の目標については、既存取引先のみでは達成が難しく、新たな観光施設等への販路開拓も検討していく必要があると考える。</li> </ul>
(2) 伴走支援の内容 ※上記(1)を踏まえ、伴走支援機関として予定している支援内容を記載してください。	<p><b>【補助事業期間中における支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施状況を確認し、収益性の改善やスケジュールに沿った事業実施等の観点で助言していく。</li> <li>・実施中の課題について、必要に応じて〇〇〇の専門家派遣事業の活用を勧める。</li> </ul> <p><b>【フォローアップ期間中における支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな販売先の開拓について、〇〇展示会等の情報提供や、□□販路開拓コーディネーターの紹介など、検討に資する助言を予定している。</li> </ul>